ROTARY INTERNATIONAL 2720

第2720地区 Rotary TAMANA RC

玉名ロータリークラブ週報

2023～2024

世界に希望を生み出そう

R　I　会　長	ゴードンR・マッキナリー
地区ガバナー	膳所　和彦
会長	田中　雄三郎
幹事	深見　京司
公共イメージ委員長	井上　幸

例会日 ■ 毎週木曜日／12：30～13：30
例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺50-4　司ロイヤルホテル内
事務局 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺540-1-102

令和5年12月7日　No.2583

玉名RCメールアドレス　jimu@tamanar.club
ホームページアドレス　http://tamanar.club

【会長の時間】田中　雄三郎　会長

今日の会長の時間は、また気になった記事をご紹介します。

さて今、政府の補正予算は、8,8兆円という国債を追加発行して、なんと半導体、生成AI支援に2兆円（経済産業省）補正予算計上するそうです。その中身にTSMCの工場や、第二工場の補助などが含まれるそうです。また、国内生成AIの開発支援にも100億円をねじ込むそうです。また気になった退職金課税の見直しには10～15年かかる見通しと聞いて、皆さんも少し安心されたかもしれません。また国債をそんなに？と思われた方もおられるかと思いますが、ど素人の私が思うに、日本の借金は当然事実ですが、我が家の財布から、息子がくすねているのと一緒の発想で、日本が債務超過になるとは限らないらしいです。一時期ギリシャなどもEUで落ち入りましたが、日本は、お金を造っているので大丈夫だとか？財務省が言うほど危険ではなく、アメリカの経済学者が言ったように、むしろ日本は見習うべきとのことです。ちなみに中国は、隠れた負債額が1,800兆円を超えているそうですが、なんともないようです。確かに、マスコミが報道するように、未来のためには借金はしない方が賢明ですが、先ほどの言ったとおりなんの問題もないらしいです。現に蒲島さんは、岸田さんに、まだまだ、追加補助を頼みたい勢いです。彼らが日本の将来的なことを一番理解していることは、皆さんもご存知のとおりです。ちなみに上級国家公務員の今の幹部は、蒲島氏の教え子らしいです。

岸田首相が今提言している新しい資本主義についての記事も少しご紹介します。

10日に公開される、気候変動や安全保障などの切り口から日本のエネルギー問題を描いた映画「Dance　With　The　Issue（ダンス　ウイズ　ザ　イシュー）」が公開されます。

専門家へのインタビューとダンスを組み合わせた問題を自ら考える端緒に、との意図があるそうです。作ったのは、（ブラックスターレーベル）という前橋市の2023年設立のNPO法人だそうです。貧困や家族、少子高齢化、認知症、ヤングケアラーと言った社会問題をモチーフにした映画を今後作る。興行やワークショップなどの収益事業と寄附で運営していくとのこと。映画監督で創業者の田村代表理事は、これまでも社会問題に関わる作品をとってきたが、企業から出資を募る従来のやり方では各社の利害が絡み、取り上げにくいテーマが多いという現実があるそうです。田村氏は「寄付による賛同者をNPOは実験的なものも許容され面白い」とのこと。理屈ではなく、感情に働きかけて人々に問題を提起出来る映画とNPOという異色の融合が、彼の起業家精神に火をつけたそうです。

非営利というのは、日本ではどこかやわな印象を持たれがちですが、寄附文化根付き、非営利団体の存在感が大きい米国では、強いメッセージを発する起業家が「攻めの道具」に使う。とのこと。2015年に非営利の研究組織として出発したオープンAIは象徴的だとしています。4年後多額の開発費を賄う（まかなう）ために営利団体を立ち上げ米マイクロソフト社をスポンサーに迎えたが、非営利団体が組織全体をコントロールする構造は賢治する。サム・アルトマン最高経営責任者（CEO）は、汎用人口頭脳（AGI）が実現すれば人類に恩恵をもたらすと叫ぶが、リスクもある。利益に惑わされずに、規律ある開発をし、社会の納得得るメカニズムとして非営利を組織に埋め込んでいるに違いない。環境負荷を抑えるものづくりで知られる米アウトドア商品大手のパタゴニア社も2022年創業家が持つ全株を非営利団体と目的信託に寄付した。

会社全体は引き続き利益を追う環境保護に使える資金を増やすための体制だ。
「最大努力すればまだ地球を救える。」として決断した創業者「イヴォ・シュナイダー」氏は話す。社会問題と向き合う起業家には今多くの選択肢がある。経済的リターンに加え社会的価値を生む企業に資金が回るインパクト投資が膨らんでいる。

「Bコープ」認証を取得すれば公益重視の経営をする企業だと明示される一方で、公的支援などをテコとして営利企業には負けない品質の製品、サービスを編み出す非営利団体の例も出てきているとのことです。

営利のスタートアップと非営利団体。事業の運営主体をどちらにするのかが社会変革の近道か？市場の成熟度や人材の集めやすさなど総合的に判断する時代だ。

寄付白書2021年によると、日本の個人寄付総額は、年間1兆2000億円あまり。増額傾向にあるが、55％をふるさと納税が占める。軽く30兆円を越す米国との差は大きい。

非営利セクターが脆弱（ぜいじゃく）生まではいけないという企業家もいる。「チャットワーク」の山本社長は、上場で得た資産で基金を設け、教育や女性の活躍といった領域で政策提言に取り組むNPOなど寄附で支える活動を始めた。エンジェル投資を通じスタートアップの経営を助けてきた。その数は、85社に上るが、これだけでは社会の閉塞を破るのには十分ではないとの感覚がある。「資本主義の倫理（ロジック）からこぼれ落ちるところにも多くの社会問題がある」
基金の管理は・政治・行政サービスのポリポリと組み、成果を、出せるNPOなどを支援先にとして厳選するとのこと。

NPO側も変わる必要がある。「貧しい人を助ける人も貧しくあれ」という思想に縛られて、NPO萎縮してきた。スタッフの待遇改善など自己改造を進めなければ、やる気と能力あふれる人材が非営利団体に集まる。米国のようにはならないと考えるべき。非営利パワーを活か

すことは、単的な資本主義の否定や営利の排除ではもちろんない。営利と非営利双方の発想やノウハウが交わって生まれるエネルギーが肝心だ。「今までの資本主義とは違う軸を経営に入れないといけない。」経済同友会の新浪剛史代表幹事は訴える。外部からの刺激を求めるように同友会は７月、社会課題をとく新興企業を束ねるインパクトスターアップ協会（東京千代田区）、そして新公益連盟と連携協定を結んだ。具体策はこれからだが、ローソン、サントリーホールディングスで社長を務め、営利の世界で結果を出してきた新浪氏の言動は産業界の空気の変化を示す。偉大な企業があるだけでは、偉大な社会にはならない。

　経営書のベストセラー著者「ジム・コリンズ」氏はそう説いている。営利でも非営利でも自在に駆使して起業家が事業プランを形にできるような社会こそ伸びしろが大きいと。私なりの新しい資本主義のとらえかたは以上ですが、皆様はいかがでしょうか？すでにロータリークラブを通じてたくさんな寄附をされて来られていますが、寄付と営利を行うことが、ビジネスモデルとしていかれることが、新しい資本主義の方向であるようです。今日の会長の時間は以上です。

【玉名RCクラブ報告】

■新年会
文月会・インターアクト担当講師
来賓者にも参加を呼びかける。

■国際奉仕委員会プロジェクト
タイへの行事参加募集のお知らせ

■グローバル補助金について
検討中

【誕生日及び結婚記念日】

12月誕生日

瀧川　義浩　会員

結婚記念日

瀧川　義浩　会員
坂梨　恭子　会員
肥後　成美　会員

【出席委員会報告】

会員数	**49（47）名**
出席数	**23名**
出席率	**48.9％**

★小山副委員長　12/7例会
スマイル
前回までの累計　￥348,000
今回　￥21,000
合計　￥369,000

田中会長　深見幹事	・お誕生日、結婚記念日の会員の皆様おめでとうございます。 ・センさん、ようこそいらっしゃいました。ありがとうございます。 ・本日は、年次総会となっております。皆様よろしくお願いいたします。
山田(邦)会員	ソーリー・・・早退します。（葬儀の為）
大石会員　鶴田会員 田原会員　中嶋会員 村上会員	結婚祝、誕生日の皆様おめでとうございます。
西嶋会員　西村会員 上田会員　本田会員 馬氷会員　松﨑会員 松本会員　小関会員 坂本会員　佐藤会員 田村会員　上田会員 吉永会員　山田(邦)会員 吉岡会員	年次総会、お世話になります。

【米山奨学生支援金授与】

米山奨学生のセン ギョウセイ様。
今月の例会も参加して頂きました。
「いつもありがとうございます。」とご挨拶頂きました。

【本日のプログラム】

年次総会（田中会長）

年次総会　式次第

1. 『開会・議長選出』　田中会長

2. 『会議成立の報告』　田中会長

3. 『第１号議案』　深見会長エレクト
   指名委員会（別室）の開催
   〇会長ノミニーの選出
   〇2026-2027年度ガバナー補佐の選出
   〇次年度理事役員の選出
   例会会場にて正式発表

4. 『第２号議案』　深見幹事
   今年度予算執行状況の報告

5. 『第３号議案』　田中会長
   その他

6. 『閉会・天鐘』　田中会長

2024～2025年度玉名ロータリークラブ理事・役員（理事会メンバー）は以下のメンバーに決定いたしましたのでご報告いたします。
皆様、来年度どうぞよろしくお願いいたします。

2024～2025年度
玉名ロータリークラブ理事・役員（理事会メンバー）

役員	会長	深見京司
	副会長（会長エレクト）	西嶋興生
	副会長（会長ノミニー）	杉谷方英
	幹事	西嶋興生
	クラブ財政	堀本武司
	SAA	上田士史
	特別役員	村上弘
	特別役員	田原豊昭
	特別役員	中嶋一了
	特別役員	山田邦男
	特別役員	鶴田倫明
	特別役員	渡邉太朗
理事	直前会長	田中雄三郎
	公共イメージ	井上幸
	会員増強	吉岡一雄
	プログラム	東吾郎
	ロータリー財団米山記念奨学	本田正美
	クラブ研修	大石勉

玉名ロータリークラブは今年度も会長幹事をはじめ、
諸先輩会員の伝統を育まれています。
来年度の新たな挑戦なども案に上がってきています。
皆様が楽しいロータリーライフを過ごせます様に、
よろしくお願いいたします。